

麻雀とわたし サトウ

これは私サトウの麻雀に関するよなしごとを記録したものです。

拙筆ですが少しでも楽しんでいただければこれ幸いです。

さて、麻雀には古くから大人の遊戯というイメージがあります。これは将棋・チェスなどとは違い、完全に理論化できないゲームであるからだサトウは考えます。もちろん、牌の枚数や得点に関する効率的な打ち方はありますが、それに加えて運や競争者自身に対する”読み”、そしてそれらを総動員して行われる駆け引きが麻雀における勝利には必要となるのです。

私は麻雀という不完全理論遊戯においてはこの駆け引きこそが重要であり面白さのキモとなる要素だと考えています。もっと言えば、駆け引きを通じた競技者同士の心の交流、それこそが麻雀の真髄であると信じて止みません。個人が持てる理性、感性を以って全力でぶつかり合う。そして勝負が決まる。そこには勝ち負けの差はあれど、共に切磋した仲としてお互いを称えられる関係が残るのです。この誇るべき関係の構築こそが至福であり、麻雀を愛するものをひきつけて止まない極上の一粒なのです。

ここまでつらつらと麻雀について書いてきましたが、皆さんは麻雀に対してどのような印象をお持ちでしょうか。ただ、受験生の読者が大半でしょうから実際に触れたことは少ないのではないかと思います。一般的な麻雀に対するイメージは「賭け事」ということから、あまり良くないものだと思います。ですから麻雀に触れる機会があっても二の足を踏んでしまうことが多いでしょう。しかし、この文章を読んだ皆さんはせめて一度自らを投企して見て頂けるのではないかと。そんなことを思いつつ物狂おしくツモを繰り返す日々でございます。